



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第20号 2013.6.

GW企画「宝石すくい」開催しました！

宝石すくいは恒例になりましたが、宝石を変えてみました。

4月27～29日と、5月3日～6日に、連休の特別企画として、宝石すくいを開催しました。

この時期に恒例となりましたが、開催期間中の入館者は、入館料半額企画の効果もあったのでしょうか、500名を大きく越えました。さらに5月3日には「日高「春」の味覚フェア・北海道オールドカーフェスタ」も開催され、期間を通して盛況でした。

なお、宝石すくいに用いた宝石ですが、こちらは今回いくつか「穴」を穿たれたものが混じっておりました。実は、この穴に金具を差込み、金属用の接着剤を流し入れると、簡単にアクセサリーになるものでした。お手元に、当館の宝石すくいですくった宝石がありましたら、ぜひチャレンジしてみてください。



宝石すくいに挑む参加者



穴あき宝石の一例

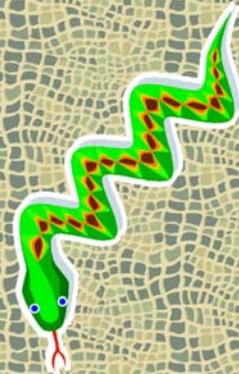
蛇紋岩 ～ 今年の干支の石 ～ 3

前回は、蛇紋岩やそのもとのかんらん岩を通る水には、MgやCaが多いことを説明しました。お肌がスベスベになるだけでなく、これは植物にも影響を与えます。

Mgは、植物に含まれる葉緑体中のクロロフィル（光合成を行うもの）をの働きを活発にするとされています。Caも、細胞の様々な調節に欠かせません。このように、MgやCaが適度に多いと、植物は活性化するのですが、蛇紋岩地帯では、これらが多いため、農作物にもある影響を及ぼします。

蛇紋岩地帯の兵庫県但馬地域では、「蛇紋岩米」という米が栽培され、味もよくブランド化されています。これも蛇紋岩から、MgやCa他の成分が適度に供給されるためでしょう。日高地域にも、蛇紋岩は多く存在します。日高のお米も、一部は蛇紋岩の影響を受けているのかもしれませんが。また、日高管内の様似町では、ウ三がおいしいことにも関わるとも言われています。ウ三がおいしく育つためには、エサの昆布が重要なのですが、どうやら、様似沿岸では、昆布の育成にも、かんらん岩由来のMgやCaが影響している可能性があるようです。

このように、蛇紋岩やかんらん岩は、人間にもさまざまな恵みを与えてくれる場合もあります。



日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。…⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。

刺子の有効活用者を募集しています



日高西部消防組合日高消防団では、使用なくなった刺子（さしこ）の有効活用のため、再利用して頂ける方を募集いたします。

利用の制限として、転売目的や刺子に記載されている「門別消防団」「日高消防団」の文字を使用しない等とありますが、永きに亘り消防団員の身体を守ってきた刺子でありますので、是非、防火・防災のアピールにご活用して頂けるようお願いいたします。

募集期間は7月末までとなります。

お問合せは

消防署消防団係（2-1521）まで



火災が多発しています！



全国統一標語「消すまでは 出ない行かない 離れない」

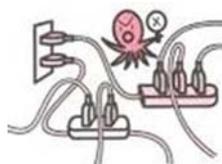
最近、日高町管内では異例なほど火災が多発しています。特に4月・5月の2ヶ月間で5件（建物火災4件、その他の火災1件）の火災が発生しました。

全国の出火原因をみると第1位は「放火」、第2位は「たばこ」、第3位は「こんろ」となっており、そのほとんどが、火気の取扱いの不注意や不始末などのちょっとした気の緩みが原因で発生しています。各事業所及び家庭での火災予防対策を徹底し、火災を出さないよう十分注意してください。

※平成25年1月1日～平成25年6月10日現在 火災件数7件

火災予防対策をもう一度確認しましょう。

- ・建物のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ・空家（廃墟状態含む）の所有者は、立入の制限や倒壊防止の措置をする。
- ・管理する施設の定期的な安全点検を実施する。
- ・物置や車庫などにもカギをかける。
- ・ストーブやボイラーなどの燃焼機器のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ・コンセントのたこ足配線や束ねて使用しない。プラグにホコリをためない。
- ・灰皿にたばこの吸い殻をためない。寝たばこをしない。捨てる時はしっかり消えているか確認し燃えるゴミと一緒にしない。
- ・台所のコンロのまわりに燃えやすいものを置かない。使用している間はそばを離れない。
- ・家庭には「住宅用火災警報器」や「住宅用消火器」を設置する。



日高西部消防組合消防署・日高消防団